

お母さんのためのお役立ちコラム

フラッシュを使わずにスマホやデジカメで子どもの発表会を撮る

お遊戯会や発表会で我が子がんばる姿を写真や動画で残しておきたいもの。しかしこういった場所でフラッシュを使うのはマナー違反。三脚を使ってシャッタースピードで露出調整するのはもちろん、スペースのない空間ではISO機能を知っておくことで手持ちでも上手に撮ることができます。

松井なおみさん

スタジオZui主宰。広告から雑誌、ホームページ、イベントなど幅広く撮影するフォトグラファー。女性ならではの感性を生かし、美容関係や自然な表情を引き出す人物撮影も得意とする。大の子ども好きで4歳の甥っ子にメロメロの毎日。



冬はクリスマス会や餅つき会、お遊戯会、音楽発表会など、幼稚園や保育園の行事が最も多い季節です。しかし冬は日差しが弱い上に、園イベントの多くが遊戯室や講堂など照明が暗い室内で行われます。だからといってフラッシュを発光させるのは演技する方も観客も集中できないので、フラッシュ機能をオフにしておくのは最低限のマナーです。

デジカメを用いて暗めの場所でフラッシュを使わずに撮影するにはISO感度を高め、できれば3200以上にするといいでしょう。ISO感度とは、カメラ内の感光部が光を感じる感度のよさを数値化したもの。通常は光の当たり具合をシャッター速度で調整しますが、ISO感度を上げることで早いシャッタースピードでも十分に露出させることができます。これによ



り具合をシャッター速度で調整しますが、ISO感度を上げることで早いシャッタースピードでも十分に露出させることができます。これによ

て暗い場所でも手振れが少なく色味も自然な撮影ができるでしょう。

スマホのカメラでも十分に撮影が楽しめます。カメラを舞台に向けた時、照明により全体が白っぽくなる場合は暗めの場所を探してタップし、暗めの場合は明るい場所を探してタップして、露出補正（カメラが自動決定する露出値を意図的に変えることで、写真を明るくしたり暗くしたりすること）をしたあと被写体に画面を向けてシャッターを切ります。しかし、スマホで室内や遠方を撮るとどうしてもノイズが目立ってしまいます。そんな時はISOとシャッタースピードを調整できるスマホアプリを活用することで、ノイズによるザラザラ感を取ることができます。デジカメの場合はAUTOになっているので、メニューの中の「ISO設定」で感度を上げましょう。最新のデジカメには「ノイズリダクション（ノイズ除去）」の機能が付いていることが多いので、この機能をONにしておくとかっきりとした画像に仕上がります。